

夢描く場所

千葉市立高等特別支援学校

学校だより第10号

令和4年 3月 1日

反射神経、感謝神経、どちらも大事！

今年度も新型コロナウイルスの影響やグラウンド改修工事の関係で、体を動かす機会をなかなか増やすことができませんでしたが、少しでも楽しめることを考えようと、体育科が中心となり校内ポッチャ大会を企画しました。各学年でチームを組み、学年代表を決め、学年代表が総当たりで優勝チームを決めました。全勝で優勝したのは2年生代表チームでした。エキシビジョンマッチとして、優勝チームと管理職チームで戦わせていただきました。さすがに優勝チームの集中力、団結力は素晴らしく、「I can do it」「できる」「大丈夫」と自分に言い聞かせたり仲間を励ましたり素晴らしい戦いぶりでした。結果は2年生チームの圧勝でした。



部活動の方でも所属の部に関係なく、計画的にサッカー、バスケットボール、ソフトボールと交流戦を行いました。どの種目もほんわかと無理せずに楽しむ雰囲気で行われておりました。そんな中でも、キラリと光るプレイが所々に見られ、「若いって素晴らしい」「動けるって羨ましい」と、お爺さんのような思いで見っていました。（年齢のせいにはしてはいけないと思いますが…ボールが飛んできて一歩目が出ない、それどころかよけられないという現状なので。）

正直なところ、集中力も持久力も反射神経も、どれをとっても生徒にかなわないと思います。できていたことができなくなるもどかしさを感じつつも、何か新しく出来るようになること、この部分は成長していると感じることを探して取り組むしかないと心掛けています。取りあえずできることはといえば、そんな自分を支えている家族や先生方、喜びを与えてくれる生徒の皆さんに感謝することだと思っています。反射神経は鈍くなっても、感謝神経は鋭く磨きをかけていきたいと思っています。

3年生の皆さん、いよいよ卒業ですね。本当におめでとうございます。4月からは社会人としての一歩を踏み出します。環境が大きく変わります。活動場所も変われば接する人も変わります。行くこと全てが初めての経験になると思います。どうしても不安になったりイライラしたりということが増えることでしょう。そんなときは是非、感謝神経に磨きをかけてほしいと思います。感謝の気持ちをもつことは、不安解消やアンガーマネジメントの大前提になります。「元気にご飯が食べられることに感謝」「働いてお金をもらえることに感謝」「仲間と楽しく遊べることに感謝」いろいろなことに感謝することで、自分一人で生きているのではないということに改めて気付くことができると思います。困ったとき、つらいときには家族や仲間、先生方を頼ってください。感謝の気持ちをもっていれば、必ず誰かが支えてくれて乗り越えられるはずです。これからも、ずっとずっと応援しています。一緒に頑張っていきましょう！

校長 三宅 健二郎